



80 日鉄鉦業所 二瀬鉦業所 瀧野炭鉦

81 中央炭鉦

82 鹿町鉦業所

83 同和鉦業所 花岡鉦業所

84 沈强 主編

85 古河鉦業所 足尾鉦業所

福岡

長崎

秋田

栃木

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇



中國人民抗日戰爭紀念館藏 日本强擄中國赴日勞工檔案彙編

48

92 三菱鉦業所 美唄鉦業所

93 六夕張鉦業所

94 尾去沢鉦業所

95 勝田鉦業所

96 飯塚鉦業所

北海道

秋田

福岡

飯塚

飯塚

二八〇

二九二

二九八

二二二

二八〇

二八〇

二九二

二九八

二二二

二八〇



中國人民抗日戰爭紀念館

国家出版基金项目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

沈强 主編

中國人民抗日戰爭紀念館藏
日本强擄中國赴日勞工檔案彙編

48



國家圖書館出版社

圖書在版編目(CIP)數據

中國人民抗日戰爭紀念館藏日本強擄中國赴日勞工檔案彙編(全六十冊)/沈強主編.
—北京:國家圖書館出版社,2014.9

ISBN 978-7-5013-5439-9

I. ①中… II. ①沈… III. ①日本-侵華事件-華工-史料-彙編
IV. ①K265.606

中國版本圖書館 CIP 數據核字(2014)第 176658 號

書 名 中國人民抗日戰爭紀念館藏日本強擄中國赴日勞工檔案彙編(全六十冊)
著 者 沈 強 主編
責任編輯 王 曉 廖生訓

出 版 國家圖書館出版社(100034 北京市西城區文津街 7 號)
(原書目文獻出版社 北京圖書館出版社)
發 行 010-66114536 66126153 66121313 66175620
66171706(傳真) 66126156(門市部)

E-mail btsfxb@nlc.gov.cn(郵購)

Website www.nlcpress.com→投稿中心

經 銷 新華書店
印 裝 河北三河弘翰印務有限公司
版 次 2014 年 9 月第 1 版 2014 年 9 月第 1 次印刷

開 本 889×1194(毫米) 1/16
印 張 1953
字 數 22500 千字

書 號 ISBN 978-7-5013-5439-9
定 價 36000.00 圓

第四十八冊

編號一一五

(北海道) 日本港運業會函館華工管理事務所	一
華人勞務者就勞始末報告書	三
附表	二五五

編號一二六

(秋田) 日本港運業會船川港秋田華工管理事務所	二九七
華人勞務者就勞始末報告書	二九九
附表	三三五

編號一二七

(神戶) 日本港運業會神戶華工管理事務所	三四五
華人勞務者就勞始末報告書	三四七
附表	四八一
附書	五三五

北海道

名稱

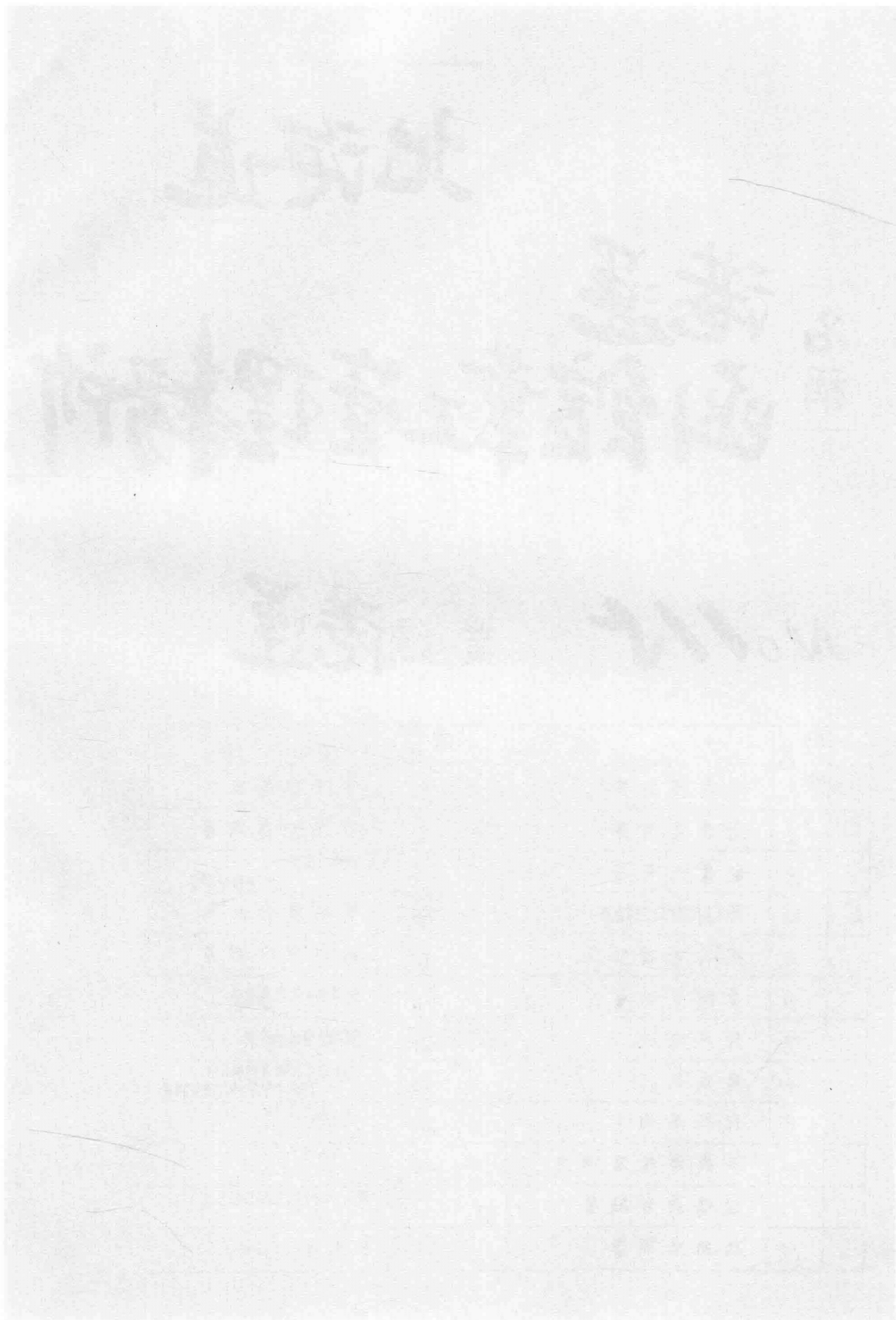
運港

函館華工管理事務所

No. 115

業種 運港

附表	名稱	附表	名稱
No. 1	事業場概要	13	不法行為統計
2	関係者名簿	14	不法行為調査書
3	配置人員表	15	終戦後に於ける 紛争事件調査書
4	個人別就業経過調査表	16	契約履行状況
5	被服支給状況	17	給喫事故調査書
6	食糧支給量	18	対華労不法行為調査書
7	疾病統計	19	就労の具体的成果
8	傷害統計	20	終戦後に於ける粉塵により 被災する事業場の損害調査書
9	死亡者調査書	21	
10	不具癆疾者調査書	22	
11	公傷病者調査書		華人労務者就労願末報告書
12	諸給喫調査書		契約書



昭和三十一年三月三十一日報告

華人勞務者就勞力顛末報告書

日本港運業會
函館華工管理事務所

No.

領

証

昭和

年

月

日

機関紙映画クラブ御中

金²⁴子

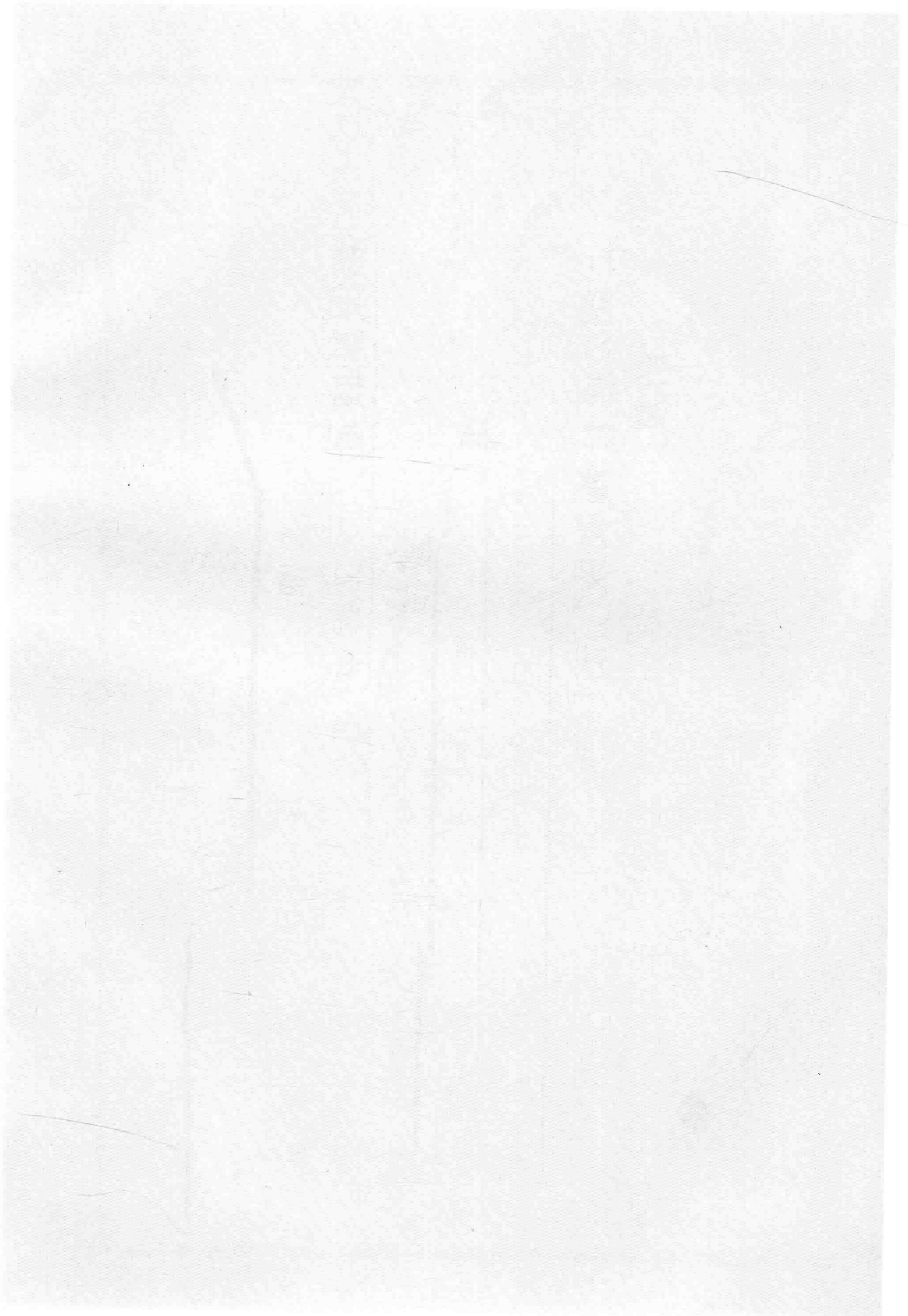
但し

上記の通り領収致しました

所屈

氏名

印



一、事業場及関係者

一、概況

當時戦争、相様愈々苛烈、度ヲ加フルニ至リ、港湾ニ於ケル荷役力ハ其、最高度、強化ヲ計ルベカラサルノ趨勢ニ立到リ、當面館港ニ在リテモ劃期的ナル當局ノ計画ニ基キ、機帆船航送ニ依ル函館青森間、石炭増送、貨物施ニ伴ヒ強行荷役完遂ノタメ多数ノ集團労働者ヲ導入シ之ニ順應スル労働態勢ヲ急據整フル必要ニ迫ラレタリ、依而関係諸官廳ト連絡協議ノ結果業者ノ中央團體タル日本港運業會ノ斡旋ニ依リ、華勞ノ移入ヲ計リ、港湾労働者トシテ就勞セシムルコトナリタリ。

導入方針ニ付テハ一切幹旋機関タル日本港運業會ノ計畫ニ基クモノナリ。受入後ニ於ケル勞務管理ハ左記ノ通り區別セラル生活管理ハ

出先機関タル日本港運業會王龍華之管理事務ナリニテ之ヲ掌理ス。

口作業管理

稼働時間中作業現場ニ於ケル作業管理ハ使用側タル函館港運株式會社ニ於テ掌理ス

受入華勞ハ當時既ニ當地ニ移入サレ居タル東日本造船株式會社所屬華勞一部及關東神戶、伏木、雨港ヲ轉換配置セラルモノナリ

二 事業場概要

函館驛構内有用炭貯炭場及其、岩壁

今營業用炭高架桟橋其、岩壁

前記現場へ青函間石炭輸送、機帆船積荷貨車輸送ニシテ石炭
ノ荷卸港内碇船ノ焚料炭、解積及艀内積込等ニシテ作業ニ従
事セル勞務者ハ日本人常傭夫半島人、華人等ニシテ華人ハ主トシテ
機帆船ノ積込及貨車卸ニ從事ス、

函館市海岸町函館市營岐線及其、岩壁

前記現場へ青函間石炭輸送、機帆船積荷、行フニ當リ貨車卸
解積等、作業ニシテ同所ハ岩壁ト貨車荷卸箇所距離遠隔、

夕馬車ヲ用ヒ貨車ヨリ馬車ニ積込シ岩壁ニハ馬車ヲ棧帆船
 艀ニ積込ム作業ニシテ從業員ハ半島人、華人、各種ノ勤奉隊ヲ充
 當ス

西館市港道建設及白石炭棧橋

當現場ニ前記同様青島運河右炭輸送、棧帆船積込現場トシテ
 昭和十九年春施設アレモ將來機械何役ヲ計畫セラルモ終戰時ニ至
 ル迄完成ヲ見ハ作業概況ハ海岸町中當現場同様馬車ヲ用ヒ該町
 ト何等異ル處ナキモ棧橋ノ構造、通路、施設等ニ於テ此現場ヲ能ク
 的ニ設置セラレアルニテ作業モ容易ニシテ貯炭場モ擴スルヲ一部
 貯炭トシテ作業ヲ併行サルモ之ハ機械船積込ト大差ナクハ運搬後
 車上ヨリ積却程度ナリ。

同現場ニ配置セラルる従業者自ハ半島人、華人ナリ。

三、華勞関係者

(一) 関係者ノ態度

生活指導自、作業指導自、本部より規定より至精水上署外
事原監督者モトニ青田石炭輸送、戦力増進期ニシテ
如何ニシテ華勞協力ヲ得ルヤ付苦心セリ

華勞ハ自治組織トシテ幹部(隊長、班長)ニテ指導サレタルヨリ
幹部ノ意志ヲ重視シ新規ノ指示事項、対シハ前以テ華勞幹部
ト協議、結果隊長ヲ経テ一般隊員ニ傳達セリ

(二) 関係者ノ配置状況

華勞関係ノ機構ハ左記ノ如クシテ分ス

日本港運業會直屬トシテ、運輸業之管理事務ヲ設置シ、華勞
全般ノ管理ニ當ル

事務所業務ヲ左之通ニ分ス

厚生科 食料、衣料、衛生等ヲ擔當

會計科 會計ヲ擔當

庶務科 外部、官廳等ノ連絡ヲ擔當

指導科 官下及於華勞ノ生活指導、且、在外渡津、整理、

規律等ヲ擔當

(3) 事業場華勞内原職員、華勞指導員、日本人派遣員、華勞及官

憲、四者、同原

據働出動時受入會社ヲ派遣シタル指導員ニ對シ、事業場側指導
員、華勞出稼人負ヲ報告、指導事項、指示、令、北側指導員ニ引渡シ

ハ華勞ノ出稼人負テ報告。計要事項ヲ指示。今北側指導員
ニ引渡シ、現地稼働中ハ一切責任ハ舍北側指導員ニ任ス。
事業場側指導員ハ各現場ヲ巡視シ、作業指導方法ノ摘查
ヲ報告セシム。尚又機~~機~~連絡ニ當テシム

缶取水上警署署長ハ毎日係官、現地及病舎内~~機~~巡視シ
事業場側ニ於テモ華勞ノ事故発生、其他諸行事ニ関シテハ
報告ス。受入時ヲ送還ニ至ルマデハ總テ缶取水上警署署長ノ指示
ニ基キ~~機~~機~~機~~管ニ當ル。

終戦後於テハ華勞ノ行動悪化セリ。事務員自ハ危険ヲ
感シ、他方ニ事務員ヲ移シ。係官五名迄ニ交替シテ病舎ニ

9